

January 8, 2021

【前日の為替概況】米 10 年債利回り上昇と 3 指数史上最高値でドル高、103.96 円、1.2245 ドル

7日のニューヨーク外国為替市場でドル円は続伸。終値は103.81円と前営業日NY終値(103.04円)と比べて77銭程度のドル高水準だった。米上院2議席を争うジョージア州の決選投票で民主党の勝利が確実となり、同党が大統領と上下両院の過半数を占める「ブルーウェーブ」が実現。追加経済対策など民主党政権での財政出動を期待した米株高と金利上昇の流れが強まり、為替市場ではドル買いが優勢となった。トランプ米大統領が混乱のない政権移行を表明したことなども好感された。

米10年物国債利回りが一時1.0863%前後と昨年3月20日以来の高水準を付けたことや、12月米ISM非製造業指数が57.2と予想の54.6を上回ったこともドル買いを促し、一時103.96円と昨年12月15日以来の高値を付けた。

前日のトランプ米大統領支持者による連邦議事堂の乱入事件に抗議して、政府高官の辞任報道が相次いだ。国家安全保障会議(NSC)の欧州・ロシア問題担当シニアディレクター、ライアン・タリー氏やポテンジジャー大統領副補佐官(国家安全保障担当)が辞任したほか、米共和党トップのマコネル上院院内総務の妻であるチャオ米運輸長官が辞任を表明。政権交代を約2週間後に控えて、さらなる辞任も予想される。市場では「主要スタッフの辞任は政権移行が進む中で国家安全保障を巡る問題が生じかねない」との指摘があったものの、相場の反応は限られた。

ユーロドルは4営業日ぶりに反落。終値は1.2272ドルと前営業日NY終値(1.2327ドル)と比べて0.0055ドル程度のユーロ安水準だった。米国でブルーウェーブが実現したことを受けて、米株高とともに米長期金利が上昇。主要通貨に対してドル買い戻しが進んだ流れに沿って、欧州時間に一時1.2245ドルと日通し安値を付けた。ただ、NY市場に限れば狭いレンジでのみ合いに終始した。株高を背景にリスク・オンのドル売りが出た半面、米金利上昇に伴うドル買いが入ったため相場は方向感が出なかった。

ユーロ円は続伸。終値は127.39円と前営業日NY終値(127.03円)と比べて36銭程度のユーロ高水準。米株式市場で主要3指数が史上最高値を更新すると、投資家のリスク選好意欲が高まり円売り・ユーロ買いが優勢になった。4時前に一時127.49円と2019年3月1日以来約1年10カ月ぶりの高値を付けた。

【本日の東京為替見通し】ドル円、米国主要 3 指数史上最高値と米 10 年債利回り上昇で続伸か

本日の東京外国為替市場のドル円は、米民主党による「ブルーウェーブ(ホワイトハウス・上下院を民主党が支配)」実現で、追加経済対策期待による米株3指数が史上最高値を更新し、米10年債利回りが1.0863%まで上昇したことを受けて堅調推移が予想される。

ドル円のオーダー状況は、上値には、103.90円に本日のNYカットオプション、104.00円にドル売りオーダー、超えるとストップロス買い、104.10-50円には断続的にドル売りオーダーが控えている。下値には、103.20円、103.10円、103.00円にドル買いオーダーが控えている。

米10年債利回りは、バイデン次期政権の財政出動への期待感から、リフレトレードが再開して1.5-2.0%への上昇が見込まれており、ドル高に拍車をかけつつあるが、来週のパウエルFRB議長の講演に要注目となる。

第2次世界大戦後の米国民民主党大統領の1期目のS&P500種株価指数は、ブルーウェーブを追い風にして平均上昇率は+10.3%となっている。上昇が5回、下落は1回となっており、5勝1敗の勝率83%となっている。ニューヨーク株安のリスクとしては、バイデン次期政権による増税や規制強化、財政出動による米国債利回りの上昇などが警戒されている。

また、菅政権による緊急事態宣言を受けて、2021年1-3月期実質国内総生産(GDP)がマイナス圏に落ち込むとの警戒感から、リスク回避の日本株売り、円買い圧力が強まる可能性には要警戒となる。

ペロシ米下院議長が「ペンス副大統領が合衆国憲法修正第25条(大統領が職務を遂行出来なくなった場合の権限移行)を適用するか早急に決断することを期待している。民主党はトランプ大統領の弾劾を求めている」と述べていることで、ホワイトハウスを巡る混迷にも要警戒となる。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

- 08:30 ◇ 11 月家計調査（消費支出、予想：前年比▲1.5%）
- 08:50 ◇ 12 月外貨準備高
- 14:00 ◇ 11 月景気動向指数速報値（予想：先行 96.6／一致 89.4）

<海外>

- 15:45 ◇ 12 月スイス失業率（季節調整前、予想：3.6%）
- 16:00 ◇ 11 月独貿易収支（予想：192 億ユーロの黒字）
- 16:00 ◇ 11 月独経常収支（予想：240 億ユーロの黒字）
- 16:00 ◎ 11 月独鉱工業生産（予想：前月比 0.7%／前年同月比▲2.3%）
- 16:45 ◇ 11 月仏鉱工業生産指数（予想：前月比▲1.0%）
- 16:45 ◇ 11 月仏消費支出（予想：前月比▲15.9%）
- 16:45 ◇ 11 月仏貿易収支（予想：50.00 億ユーロの赤字）
- 16:45 ◇ 11 月仏経常収支
- 19:00 ◎ 11 月ユーロ圏失業率（予想：8.5%）
- 22:30 ☆ 12 月カナダ雇用統計（予想：新規雇用者数変化▲2.75 万人／失業率 8.6%）
- 22:30 ☆ 12 月米雇用統計（予想：非農業部門雇用者数変化 7.1 万人／失業率 6.8%／平均時給、前月比 0.2%／前年比 4.4%）
- 24:00 ◇ 11 月米卸売売上高
- 24:00 ◇ 11 月米卸売在庫（予想：前月比▲0.1%）
- 9 日 01:00 ◎ クラリダ米連邦準備理事会（FRB）副議長、講演
- 9 日 05:00 ◇ 11 月米消費者信用残高（予想：90 億ドル）
- ロシア（新年休暇）、休場

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

※時間は日本時間

7 日 05:20 トランプ米大統領
(議事堂で暴徒化しているトランプ支持者に対して)
「議事堂にいるみんなには平和的であることをお願いする、暴力はなしだ！」
「覚えているだろう、我々は法と秩序の政党だ」
「法と警官には敬意を」

7 日 05:40 マクナニー米大統領報道官
「州兵が議事堂に向かっている」

7 日 06:13 バイデン次期米大統領
「トランプ米大統領は今すぐにテレビに出て、議事堂の包囲を止めさせるべきだ」

8 日 04:10
(昨日の議会議事堂乱入事件について)
「大統領は法より上ではない」
「議事堂では黒人抗議者は異なった扱いを受けた」

7 日 16:12 西村経済再生相
「新型コロナウイルスのワクチン接種は 2 月下旬の開始を目指す」

7 日 17:10 岡村財務官
「市場の安定は極めて重要」
「政府、日銀は経済動向を注視」

7 日 23:21 ハーカー米フィラデルフィア連銀総裁
「今年終盤に資産購入の段階的縮小の可能性はある」

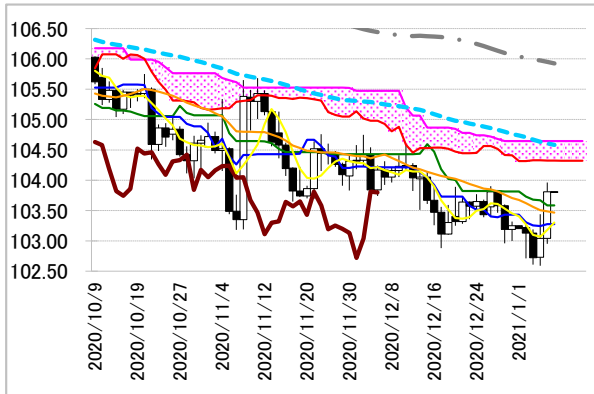
8 日 00:49 欧州中央銀行(ECB)
「第 4 四半期の国内総生産(GDP)はおそらく落ち込むだろう」

8 日 01:39 シューマー米上院院内総務(民主党)
「トランプ氏はすぐに罷免されるにふさわしい」

8 日 03:13 エバンス米シカゴ連銀総裁
「今年の米国は 4%成長を見込む」

8 日 04:26 ペロシ米下院議長
「ペンス副大統領が合衆国憲法修正第 25 条(大統領が職務を遂行出来なくなった場合の権限移行)を適用するか早急に決断することを期待している」
「民主党はトランプ大統領の弾劾を求めている」

〔日足一目均衡表分析〕

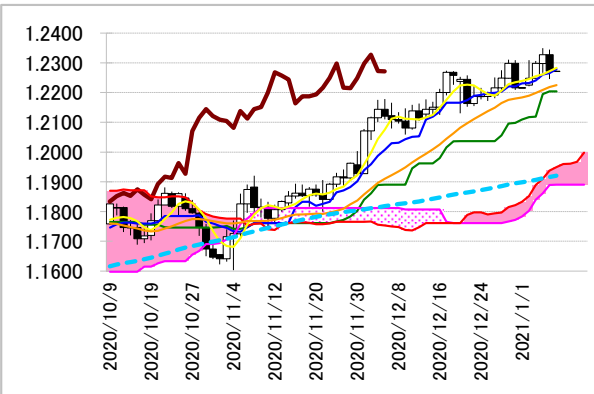


<ドル円＝転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。しかし、底値圏での孕み線、2手連続陽線で転換線を上回って引けていることで、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	104.32(日足一目均衡表・雲の下限)
前日終値	103.81
サポート1	103.28(日足一目均衡表・転換線)
サポート2	102.59(1/6安値)

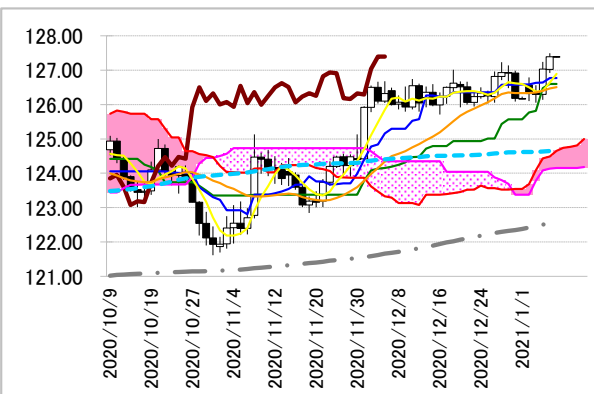


<ユーロドル＝1/6高値を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯している。しかし、高値圏での抱き線で転換線を下回って引けていることで続落の可能性が示唆されている。

本日は、1月6日の高値を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同水準を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	1.2349(1/6高値)
前日終値	1.2272
サポート1	1.2204(日足一目均衡表・基準線)

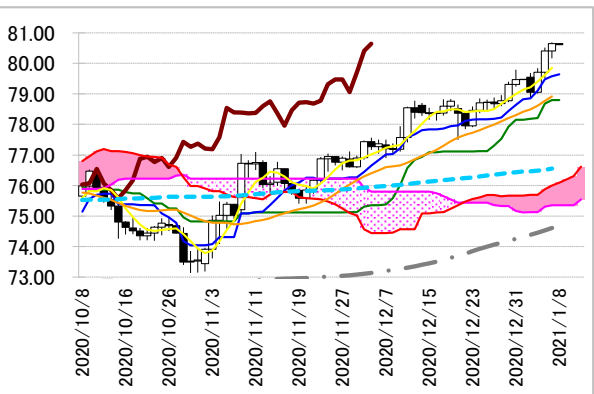


<ユーロ円＝転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯している。2手連続陽線で転換線を上回って引けており続伸の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	128.39(2018/12/20高値)
前日終値	127.39
サポート1	126.77(日足一目均衡表・転換線)



<豪ドル円＝転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯している。3手連続陽線で転換線を上回って引けており、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	81.15(2020/12/21-31のN計算値)
前日終値	80.65
サポート1	79.64(日足一目均衡表・転換線)

